

## 細胞外液量

細胞外液量の測定には、細胞内へは移行せず細胞外液中のみに均等に分布するトレーサーとしてイヌリン、マンニトール、シヨ糖、チオ硫酸ナトリウム、 $^{77}\text{Br}$ 、 $^{83}\text{Br}$ 、 $^{36}\text{Cl}$ 、 $^{38}\text{Cl}$ 、 $^{24}\text{Na}$ 、 $^{35}\text{SO}_4$ 、チオシアン酸ナトリウムなどが用いられてきた。イヌリン、マンニトール、シヨ糖は尿中への移行が速く、チオ硫酸ナトリウム、 $^{77}\text{Br}$ 、 $^{83}\text{Br}$ 、 $^{36}\text{Cl}$ 、 $^{38}\text{Cl}$ 、 $^{24}\text{Na}$ 、 $^{35}\text{SO}_4$ 、チオシアン酸ナトリウム (Crandall, Anderson: Am J Digest Dis & Nutr 110:126, 1934; 砂原: 最新医学 5:1950) などのイオン類は一部細胞内にも移行する。最も理想的と考えられるトレーサーは  $^{35}\text{SO}_4$  であるが、試薬の入手が困難であり、現在わが国では行われていない。

基準範囲 体重に対する百分率(細胞外液量/体重比): 男性 24.2~29.3% (平均 26.6%), 女性 21.2~26.6% (平均 24.2%) (砂原: 東京医会誌 56:27, 1942)